

1 経緯

28年度に圏域特性格別戦略分析チーム（山崎道顧問、北大石井特任教授、シンクタンク、金融機関、道等）において、旭川圏をモデルとして選定。振興局、旭川市も加わり、市町村長や民間事業者との意見交換会など行い、観光戦略とDMOの役割について検討。

2 DMOの概要

【区域】 旭川市 上川町 東川町 鷹栖町 東神楽町 当麻町 比布町 愛別町（1市7町）
 【法人設立】 平成29年10月26日
 【代表者】 理事長（旭川市長）西川 将人

【国土交通省観光庁】

- ・平成29年11月28日：日本版DMO登録（名称：（一社）大雪カムイミントラDMO）
- ・平成29年11月29日：スノーリゾート地域の活性化に向けたモデル事業採択

3 DMO設立記念フォーラムの開催

11月30日、大雪カムイミントラDMO設立を契機とした「フォーラム」を旭川市と共催で開催し、自治体や観光事業者など約200名が参加。フォーラム閉会後には首都圏企業と地元観光事業者の「集客強化セミナー・ビジネスマッチング」が開催され、観光関連事業の裾野拡大に向けた取組が行われた。

○ 開催内容

（1）フォーラム

- ・講演：「日本版DMOの取組と注目事例」
 講師：観光庁 観光地域振興部長 米村 猛 氏
- ・パネルディスカッション
 テーマ：「大雪圏域の価値創造による地方創生」
 〈参加パネラー〉
 山崎道顧問、観光庁 米村部長、DBJ 松嶋支店長
 上野ファーム 上野氏、DMO 林専務理事、HIT五十嵐理事長



（2）集客強化セミナー・ビジネスマッチング

主催：地方創生・観光プロモーションコンソーシアム
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社／株式会社エイチ・アイ・エス

4 今後のDMOの事業展開

- スポーツ、アウトドア、歴史・文化など、体験型観光に対応できる体制を構築
- 外国人観光客へ外国語メニュー、カード決済、地元食材など情報を一体的に提供
- 顧客リスト化を図りサイクリング、登山、森林浴等ニーズに合わせたアクティビティの提供
- 旭川市内スキー場（カムイスキーリンクス）をスノーリゾート構築の中核施設とし、スキー場共通ICリフト券、宿泊、交通等がパッケージ化した旅行商品等を検討

○ スノーリゾート地域の活性化に向けたモデル事業（観光庁）

「スキーインバウンド裾野拡大事業」

- ・ 外国人受入サービス向上セミナーの開催
- ・ 留学生を対象とした養成講習の受講
- ・ 留学生のアシスタント兼通訳としての活用
- ・ 手ぶらスキーの環境構築等を組み込んだモニターツアー

